

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	船坂 綾子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～4章)	筋系、神経系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第5章～6章)	神経系、血液・循環器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	人体の構造および機能の復習 (第7章～9章)	呼吸器系、消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
5	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
6	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造(毛)
7	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器官の構造(脂腺、汗腺、爪) および皮膚の循環器系と神経系
8	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器官の生理機能
9	総まとめ	テストを実施する
10	皮膚科学(第5章)	皮膚と皮膚付属器官の保健

11	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患 (皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹)
12	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患(日光皮膚炎～分泌異常による疾患)
13	皮膚科学(第6章)	皮膚と皮膚付属器官の疾患(化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患)
14	解説 皮膚科学(第6章)	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習(第1章～2章)	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習(題3章～4章)	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習(第5章)	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習(第6章)	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論	出版社	社) 日本理容美容教育センター		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田代 耕一	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	明治・大正・昭和の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)	現代Ⅰ(1945～1950年代)の髪型・服装・化粧について
6	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅱ(1960～1970年代)の髪型・化粧・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅲ(1980～1990年代)の髪型・化粧・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ(1960～1970年代)	現代Ⅳ(2000年代以降)
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について

10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	都香 宏	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節	経営とは何か・継続企業の原則、経営の必要性を理解する
3	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第3節 第4節	経営資源と経営計画を理解する
4	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第5節 第6節	経営戦略とは何か/良い店の実現を理解する
5	第2章 理容業・美容業の経営について第1節 第2節	業界の概要について/競争の変化を理解する
6	第2章 理容業・美容業の経営について第3節 第4節	サービスについて/理容業・美容業の顧客についてを理解する
7	第1編 第3章 資金の管理 第1節 第2節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する
8	第1編 第3章 資金の管理 第3節 第4節	収支と損益、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
9	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する

10	第1編 第3章 資金の管理 第5節	税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
11	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する P50～P61
12	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現①健康診断
13	第2編人という資源 従業員としての視点 第2章健康・安全な職場環境の実現	健康・安全な職場環境の実現②理美容業の健康問題
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前期定期試験
15	振り返り	回答&解説
16	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ
17	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第2節	社会保険①厚生年金を学ぶ
18	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P80～P83
19	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P83～P85
20	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ
21	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から 第4節	社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
22	第2編人という資源 従業員としての視点 第3章従業員としての視点から	後期授業習得度の確認
23	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態1～3 価値の構造を理解し、システムを学ぶ
24	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン	価値の実態4～6 価値の役割を理解し、人の役割を学ぶ
25	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング① マーケティングミックス(短期的要因)を学ぶ
26	第3編 顧客のために 第2章 マーケティング	マーケティング② マーケティングミックス(長期的要因)を学ぶ
27	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践①～④ P124～P135
28	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	接客の実践⑤接客におけるトラブル対応
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	椿原 昌子	実務経験		○	
実務内容	サロン勤務歴12年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	< 8章 エステティック > 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	< 9章 ネイル技術 > 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージのポイント・手順
5	< 10章 メイクアップ > 1. メイクアップ概論 2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩 4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア 7. ベースメイクアップ	・メイクアップ概論(サロンワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具・クレンジング、トーンニング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カバーホワイト ベースメイクのアクセントカラー・パウダリング
6	8. アイメイクアップ 9. アイブローメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュアップメイクアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドウ、カラーアイシャドウ、パウダーアイシャドウ、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュアップメイクアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	< 11章 日本髪 > 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和

9	5. 日本髪 <small>の</small> 装飾品 6. 日本髪 <small>の</small> 結髪道具 7. 日本髪 <small>の</small> 結髪技術 8. 日本髪 <small>の</small> 手入れ 9. かつら	・日本髪 <small>の</small> 装飾品・日本髪 <small>の</small> 結髪道具・日本髪 <small>の</small> 結髪技術 ・日本髪 <small>の</small> 手入れ・かつら(かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ)
10	< 12章 着付けの理論と技術 > 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウエーピング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う



# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際の知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	都香 宏	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 化粧品概論	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明
2	2章 化粧品原料	「化粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	2章 化粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 化粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎化粧品	「皮膚洗浄用化粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎化粧品」「メイクアップ用化粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」「ポイントメイクアップ化粧品の解説と演習」「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「ヘアカラー」の解説と演習

11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2	「物質の構成」「物質(水)の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小川 由紀子	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
2	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
3	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
4	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
5	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
6	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
7	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
8	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
9	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等
10	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等

11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	公衆衛生	まとめを実施する。
17	公衆衛生	まとめを実施する。
18	環境衛生	まとめを実施する。
19	環境衛生	まとめを実施する。
20	感染症	まとめを実施する。
21	感染症	まとめを実施する。
22	感染症	まとめを実施する。
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	香粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。				
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。				
評価基準	テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	浅山 翔悟	実務経験		○	
実務内容	美容室で6年間勤務経験有				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 香粧品概論	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明
2	2章 香粧品原料	「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	2章 香粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 香粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎香粧品	「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用香粧品 5章 頭皮・毛髪用香粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」「ポイントメイクアップ化粧品の解説と演習」「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	5章 頭皮・毛髪用香粧品	「スタイリング剤」の解説と演習
9	5章 頭皮・毛髪用香粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用香粧品	「ヘアカラー」の解説と演習

11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2	「物質の構成」「物質(水)の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小倉 望 他2名	実務経験	○		
実務内容	美容室、サロンにて7年間の勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい1段目～3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)復習、計測27分～25分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピニング)、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール導入
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール復習、強化、7段目クロックノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイポール、7段目クロックノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス

8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボール、7段目クロックノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	7段構成計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り



# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	小倉 望 他1名	実務経験		○	
実務内容	美容室、サロンにて7年間の勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業 オリエンテーションワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング(コーム、9ブロック)3分、全頭巻き30分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング(コーム、9ブロック)3分、全頭巻き30分、ブロッキング3ブロック導入
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き30~25分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き30~25分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き30~25分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き25分

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブッキング3ブロック1分、全頭巻き25分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全頭計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

**各回の展開【国家試験カット】**

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらいカット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウェーブ:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の5分の4以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。</li> <li>・この科目は「ワインディング」「オールウェーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。</li> </ul>				
担当教員	小倉 望 他3名	実務経験		○	
実務内容	美容室、サロンにて7年間の勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング 総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

**各回の展開【オールウェーブセッティング】**

回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	小倉 望 他3名	実務経験	○		
実務内容	美容室、サロンにて7年間の勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
12	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の5分の4以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小倉 望 他3名	実務経験	○		
実務内容	美容室、サロンにて7年間の勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する

8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する



# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	原 真理子 他3名	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロン・ブライダルサロンにて15年以上の現場経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)

8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け3級検定(小紋の着付と蝶結び(20分))を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学1	着物の名称と用語(プリント①②)について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方(自装)と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	座学2	着物のTPO(プリント③④)について
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付(お太鼓結び)と総まとめを行う
16	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
20	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
21	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
22	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
23	振袖の着せ方8	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け2級検定試験(振袖にふくら雀30分)を実施する
26	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・ゆかた本・花嫁テキスト・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ひも(モスリン(4点)仮ひも(1))・長襦袢(半衿えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(5本セット)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・技術を身につけると同時に花嫁着付も習得し、ブライダルの着付けに関わる全ての技術を身				
到達目標	礼装・花嫁着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、業界で通用する人材となる。 技術の習得目安として、 ・着付け2級(5月強制受験 免許強制) ・花嫁着付3級(12月強制受験 免許強制) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会 きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	原 真理子 他3名	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロン・ブライダルサロンにて15年以上の現場経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方3	考査票の記入、振袖着付を仕上げる(検定対策)
2	振袖の着せ方4	振袖着付を仕上げる(検定対策)
3	振袖の着せ方5	振袖着付を仕上げる(検定対策)
4	振袖の着せ方6	振袖着付を仕上げる(検定対策)
5	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
6	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する

7	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について、検定結果通知
8	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
9	浴衣の着方 男性浴衣の着せ方	女性浴衣の自装 半幅帯バリエーション 男性浴衣について
10	座学1	着物のTPO(プリント③④)を学ぶ
11	花嫁着付内容説明	デモンstrーション、小物の準備/使い方/片付けについて
12	花嫁着付1	補整の説明と仕方、長襦袢の着付を学び実践する
13	花嫁着付2	補整の仕方、長襦袢の着付を実践する
14	花嫁着付3	補整、長襦袢、掛下の着せ方(衿合わせ)を学び実践する
15	総合学習	花嫁着付と総まとめを行う
16	花嫁着付4	考査票の記入、補整、長襦袢、掛下の着せ方(裾引き)を学び実践する
17	花嫁着付5	掛下までの着付を実践(復習)する
18	花嫁着付6	掛下の着付の実践(復習) 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
19	花嫁着付7	掛下の着付の実践(復習) 掛下帯での文庫の結び方を学び実践する
20	花嫁着付8	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
21	花嫁着付9	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
22	花嫁着付10	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
23	花嫁着付11	掛下の着付と文庫結びを仕上げる(検定対策)
24	検定向上会	総仕上げ、テストの流れについて
25	検定試験	花嫁着付け3級検定試験を実施する
26	打掛の掛け方	掛下に文庫結び、お絡げ・裄どり・お搔い取り、検定結果通知
27	引き振り袖	花嫁の変わり結びを学び実践する
28	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
29	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たたみ方を学び実践する
30	総合学習	国家試験対策としてテストを実施、解説する

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	ノート・筆記用具		出版社		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	社会人としてのマナーやルールを学び就職内定につなげる				
到達目標	希望する企業に内定をいただき、社会人としての自覚を持つ				
評価基準	テスト：50% 授業態度：50%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上あるもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	小倉 望 他3名	実務経験	○		
実務内容	美容室、サロンにて7年間の勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	目標設定 今後の就職スケジュール	2年生の目標設定（個人・クラス） 就職・面談アンケート実施
2	仕事の計画	社会人の仕事のスケジュール管理 就職活動の計画表作成
3	就職決定までの流れ	エントリー方法・試験内容 受験報告書記入の仕方⇒受験報告書記入例教室掲示 送付状、内定お礼状、郵送用封筒の作成について 返信書類管理方法
4	テスト	履歴書(1年次で習ったところまで)・一般常識試験対策
5	電話・メール・SNSの使い方	就職希望先・就職先への電話のかけ方やメールの送り方について再度確認をする
6	テスト返却・解説	履歴書の書き方再度確認・一般常識解説
10	面接練習①	面接の入退室の練習 試験官と面接者をグループを作り練習する
11	面接練習②	志望動機や自己PRなどを実際に話してみる
7	社会人基礎力①	求められる人材を考える

8	社会人基礎力②	求められる人材に対して自分のできているところと改善点を考える
9	社会人基礎力③	目標設定 求められる人材になるには何を目標にするかを定める
12	試験対策①	漢字・計算・敬語・四字熟語・ことわざなど筆記対策を行う
13	試験対策②	漢字・計算・敬語・四字熟語・ことわざなど筆記対策を行う
14	テスト	試験対策①②試験
15	総合授業	総まとめ
16	目標設定 今後の就職スケジュール	2年生の目標設定（個人・クラス）
17	社会人準備①	社会保険や年金制度について学ぶ 給料の配分など各自シミュレーションを行い計画を立てる
18	社会人準備②	社会保険や年金制度について学ぶ 給料の配分など各自シミュレーションを行い計画を立てる
24	社会人基礎力①	社会人として必要なビジネスマナーを学ぶ
25	社会人基礎力②	社会人としての自覚をもつために
26	社会人基礎力③	新入社員の時に心がけることを学ぶ
23	テスト	テスト
19	社会人基礎力④	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
20	社会人基礎力⑤	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
21	社会人基礎力⑥	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
22	社会人基礎力⑦	社会に出るにあたって必要となるスキルを身につける。 モチベーションアップの方法
27	振り返り①	3年間の自分を振り返る
28	振り返り②	2年後・5年後の自分を考える
29	振り返り③	3年間の自分を振り返り、2年後・5年後の自分をみんなにプレゼンテーションする
30	総合授業	総まとめ

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい					
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。</li> <li>・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。</li> </ul>				
担当教員	増本 尚平 他1名	実務経験		○	
実務内容	美容師としてサロンで19年勤務。☑				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)

8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う



# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック (デジタルテキスト) スマホアプリ(VOGUE RUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	特殊→ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする メイク→スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	特殊→トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる メイク→メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・特殊(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - B				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・(ベーシックメイク) + (特殊・アーティスト・モデルメイク)				
担当教員	堀川 早紀子 他1名	実務経験	○		
実務内容	ブライダルメイクとして現場での経験有。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う

9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う
各回の展開		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式・問題集		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルメイクの知識、メイク実技を習得し現場を意識して実践できるようになる				
到達目標	ブライダルメイクアップ実技と理論を理解し現場で使用できるメイクを実践できるようになる				
評価基準	テスト30%・提出物10%・授業意欲10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ - C				
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	高瀬 智子 他1名	実務経験	○		
実務内容	美容師として、結婚式場に勤務。				

## 各回の展開【ブライダルメイク】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	新教材の使いかた・スキンケア
2	ブライダル知識	カウンセリング・ブライダル知識(ヘアメイク)
3	メイク理論・錯覚	4パターンの違い・錯覚によるメイク方法
4	検定理論	ブライダルメイク検定理論
5	検定理論	ブライダルメイク検定理論
6	洋装メイク①	SWEET・ROMANTIC
7	洋装メイク②	POP・NATURAL
8	洋装メイク③	FEMININE・LUXURY

9	洋装メイク④	COOL・CLASSICAL
10	検定対策①	顔分析⇒デッサンシート作成
11	検定対策②	顔分析⇒デッサンシート作成②
12	検定対策③	モデルに合わせた顔分析⇒実技練習
13	検定対策④	フルメイクまとめテスト
14	検定対策⑤	フルメイクまとめテスト／振り返り
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - C		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	エステ⇒教科書・クリエータ化粧品セット・タオル類・消耗品類 メイク⇒メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）		出版社	エステ⇒日本エステティック協会、日本理容美容教育センター メイク⇒ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	<p>エステ⇒身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。 メイク⇒スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。</p>		
到達目標	<p>エステ⇒ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 メイク⇒メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。</p>		
評価基準	<p>・エステ(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)</p>		
認定条件	<p>・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者</p>		
関連資格	<p>メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン</p>		
関連科目	美容実践Ⅰ - C		
備考	<p>・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・(ベーシックメイク) + (ブライダルエステ)</p>		
担当教員	堀川 早紀子 他1名	実務経験	○
実務内容	ブライダルメイクとして現場での経験有。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内-消毒-下肢後面マッサージ-ふき取り-誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導

9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内-デコルテ1～7(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編   プリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内-フェイシャル1～11(美容技術)-HOTタオルふき取り(技術編   プリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内-全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り-整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内-フェイシャルクレンジング(技術編   プリント)-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内-フェイシャルクレンジング-マッサージ-ふき取り-整肌-誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内-消毒-クレンジング-マッサージ-マスク-ふき取り-整肌-誘導
15	総合授業	総まとめを行う

**各回の展開【ベーシックメイク】**

回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	教科書・クリエイティブ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。				
評価基準	実技試験80%(フェイシャル40%・ボディ40%)、授業態度・提出物20%/5段階評価				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン 認定ボディエステティシャン				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	平川 美由紀 他2名	実務経験		○	
実務内容	(株)テスワールドにてエステティシャン、店长、マネージャーとして勤務。育成にも携わる。その後、総合病院にてリンパドレナージュの施術を実施していた。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ: 教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ: 1. ボディエステティックの目的と効果 2. ボディエステティックの流れ 1コマ: 授業準備・ルールについて(各校) ベッドセッティング
2	接客マナー(相モデル)	1コマ: ベッドセッティング 1コマ: 笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ: 基本動作・ベッド誘導
3	前操作(相モデル)	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ 前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	デモ(塗布から) 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内ー消毒ー下肢後面マッサージーふき取りー誘導 ×2クール～4クール人数に応じて ※相モデル

8	フェイシャルエステティックとは接客マナー(相モデル)	1コマ:1. フェイシャルエステティックの目的と効果 2. フェイシャルエステティックの流れ 1コマ:事前準備・基本動作・ベッド誘導 1コマ:基本手技・HOTタオルの流れシミュレーション
9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入・デモ ご案内ーデコルテ1～7(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編 I プリント)
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入・デモ ご案内ーフェイシャル1～11(美容技術)ーHOTタオルふき取り(技術編 I プリント)
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・デモ ご案内ー全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取りー整肌
12	フェイシャルマッサージ 4	通し練習 ご案内ーフェイシャルクレンジング(技術編 I プリント)ーマッサージーふき取りー整肌ー誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内ーフェイシャルクレンジングーマッサージーふき取りー整肌ー誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ:デモマスク塗布・ふき取り 通し練習 ご案内ー消毒ークレンジングーマッサージーマスクーふき取りー整肌ー誘導
15	総合授業	総まとめ授業を行う



# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルに技術と共にJNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身に付ける				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席が総時間数の3分の2以上ある者</li> <li>・成績評価が2以上の者</li> </ul>				
関連資格	JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前菌 奈美 他1名	実務経験	○		
実務内容	トータルサロンでの勤務経験後、独立しネイルサロンを開業。また、日本ネイリスト協会認定講師も勤める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
	導入・教材チェック 一年次復習	導入・教材チェック一年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	一年次復習	一年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ

5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-E		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-E		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科		90
使用教材	ネイル⇒JNAテクニカルシステム ベーシック、ネイル用具一式 メイク⇒メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック(デジタルテキスト)		出版社	ネイル⇒NPO法人日本ネイリスト協会 メイク⇒ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイル⇒基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる メイク⇒スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	ネイル⇒ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得 メイク⇒メイクアップ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるメイクが実践出来るようになる。				
評価基準	・ネイル(検定結果15%・授業態度他5%・筆記テスト15%・実技テスト15%) ・メイク(テスト30%、提出物10% 授業意欲10%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級(任意)・JNAジェルネイル検定初級(任意) 2年4月 2年7~12月 メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容実践Ⅰ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・(ベーシックメイク)+(ネイル検定対策)				
担当教員	前園 奈美 他1名		実務経験	○	
実務内容	トータルサロンでの勤務経験後、独立しネイルサロンを開業。また、日本ネイリスト協会認定講師も勤める。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	プレパレーションデモ リベア(シルクラップ)デモ・実技	ラップ素材を使用して 爪の修正を学ぶ
2	2級検定説明(2級検定DVD) 2級検定実技	2級検定について説明し 受験希望者を確認
3	チップオン・チップラップデモ 相モデル	チップによる付け爪の習得
4	チップオン・チップラップ相モデル	
5	チップオン・チップラップ相モデル	
6	トリートメントデモ 相モデル・ケア・トリートメント	サロンワークに必要なトリートメント
7	エンボスアート	エンボスアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
8	エンボスアート	

9	ミックスメディアアート	3Dアートの基本的な花の作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
10	ミックスメディアアート	
11	チップラップ実技	テスト前に技術の再確認
12	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
13	実技試験(2級と同じ内容)	実技試験 J NEC2級検定受験内容に準じる
14	筆記試験 実技練習	筆記試験 J NEC2級検定受験内容に準じる 実技試験の振り返り
15	総合授業	総まとめを行う
<b>各回の展開【ベーシックメイク】</b>		
回数	単元	内容
1	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
2	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
3	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
4	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
5	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
6	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
7	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
8	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
9	プロポジション	プロポジションについて導入、実践
10	錯覚	錯覚について導入、実践
11	色、質感	色、質感について導入、実践
12	色、質感	色、質感について導入、実践
13	フルメイク	フルメイクまとめテスト
14	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
15	総合授業	まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科		120
使用教材			出版社		

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所による注意点を理解し実践力を身につける。				
到達目標	色・光・影による被写体の見え方を知る。 撮影中の注意点を知る。				
評価基準	作品評価50%・提出物30%・授業意欲20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	木寺 博司	実務経験			
実務内容					

## 各回の展開【フォト】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的・目標・評価基準・授業ルール・教材確認
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウト・構図やモデルのポージングについて
3	カメラの使いかた 撮影光と影の使いかた	オート（プログラムオート）で自由に撮影。 カメラの構え方やレンズの使いかたを知る。
4	カメラの使いかた 撮影光と影の使いかた	オート（プログラムオート）で自由に撮影。 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る。
5	カメラの使いかた 撮影光と影の使いかた	撮影のフィードバック。レンズによる遠近法の変化や絞りによる 背景のボケ方（被写体深度）の説明。
6	レフの使いかた	室内でレフを使った撮影。ライトの使いかた等。
7	作品づくり①	テーマに合わせ作品制作。

8	作品づくり①	テーマに合わせた作品制作のフィードバック。作品の評価など。
9	作品づくり②	テーマに合わせた作品制作。ライティング等利用①
10	作品づくり②	テーマに合わせた作品制作。ライティング等利用のフィードバック。作品の評価など。
11	作品づくり③	テーマに合わせた作品制作。ライティング等利用②
12	作品づくり③	テーマに合わせた作品制作。ライティング等利用のフィードバック。作品の評価など。
13	作品づくり④	テーマに合わせた作品制作。ライティング等利用③
14	作品づくり④	テーマに合わせた作品制作。ライティング等利用のフィードバック。作品の評価など。
15	総合授業	総合的なまとめと振り返り。

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークB		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークB		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	美容技術理論Ⅰ		出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	カット・パーマ・カラーの基本技術・理論を理解し、習得させる。				
到達目標	実践の授業で応用が出来るように、サロンワークの授業を通して基礎理論・技術を習得する。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家試験				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	小野 沙也香 他5名	実務経験		○	
実務内容	サロン、美容室に11年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明
2	カットについて理解する 美容総合授業	シザーの扱い方・姿勢・ブロッキング・基礎理論・ベーシックな技法の理解をする。 デッサンシート作成
3	ワンレングスカット① 美容総合授業	ワンレングススタイルの基本中の基本であるブラントカットを理解し、習得する。 ヘアメイク練習
4	ワンレングスカット② 美容総合授業	ワンレングススタイルの完成 ヘアメイク練習
5	グラデーションカット① 美容総合授業	グラデーションの意味を理解し、カット技法を習得する。 ヘアメイク練習
6	グラデーションカット② 美容総合授業	グラデーションスタイルの完成 ヘアメイク練習
7	レイヤーカット① 美容総合授業	レイヤーカットの知識を身に付け、カット技法を習得する。 ヘアメイク練習
8	レイヤーカット② 美容総合授業	レイヤースタイルの完成 ヘアメイク練習
9	セიმレングスカット① 美容総合授業	オンベースを理解・意識し、セიმレングスタイルを作り上げる。 ヘアメイク練習

10	セიმレングスカット②	セიმレングスタイル（メンズカット）の完成
11	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
12	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
13	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
14	カットまとめ	上記スタイルを織り交ぜて、スタイルを完成させる。
15	総まとめ	総まとめ（学んだ知識・技術を活かし、1スタイルの完成）
16	初回授業オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 ABEまつ毛エクステンション検定衛生（技術における衛生上の取り扱い）
17	筆記・・・第1章 実技・・・ツイザー	筆記・・・まつ毛エクステンション概論 実技・・・ツイザーの正しい持ち方とJカール装着
18	筆記・・・第2章 実技・・・ツイザー	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（1備品） 実技・・・ツイザーの正しい使い方とJカール装着
19	筆記・・・第2章 実技・・・まつ毛書き分け	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（2道具） 実技・・・まつ毛の書き分け方とJカール装着
20	筆記・・・第2章 実技・・・まつ毛書き分け	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（3用剤） 実技・・・まつ毛の書き分けと装着タイムトライアル
21	筆記・・・第2章 実技・・・テーブルセッティング	筆記・・・まつ毛エクステンションの用具（4材料） 実技・・・テーブルセッティング
22	筆記・・・第3章 実技・・・Jカール	筆記・・・衛生管理 実技・・・Jカールの装着タイムトライアル
23	筆記・・・第4章 実技・・・Jカール	筆記・・・保健（眼に関する知識） 実技・・・Jカールの装着タイムトライアル
24	筆記・・・第4章 実技・・・テーピング	筆記・・・保健（皮膚に関する知識） 実技・・・テーピングデモ&実習とJカールの装着 小テストを実施する
25	筆記・・・第4章 実技・・・テーピング	筆記・・・保健（まつ毛に関する知識） 実技・・・テーピングデモ&実習とJカールの装着
26	筆記・・・第5章 実技・・・リムービング	筆記・・・カウンセリング 実技・・・テーピングから装着までリムービングデモ&実習
27	筆記・・・第6章 実技・・・トライアル	筆記・・・第6章まつ毛エクステンション技術1 実技・・・トライアル
28	筆記・・・第6章 実技・・・トライアル	筆記・・・第6章まつ毛エクステンション技術2 実技・・・トライアル
29	実技・・・トライアル	実技・・・トライアル
30	総まとめ	総まとめ



# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	1年時の基礎技術の応用から現場での活用につなげる				
到達目標	ヘアアレンジ技術と理論を理解し、サロンスタイルで使用できるスタイリングが実践出来るようになる。				
評価基準	ブライダル知識50%・ヘアアレンジ50% (テスト30%・授業態度20%)				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	篠原朱美	実務経験	○		
実務内容	美容師として、トータルサロン・結婚式場での勤務有。				

## 各回の展開【ヘアアレンジ】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	サロンワークヘアアレンジについての説明
2	復習①	アイロンと各ピンの使いかた
3	復習②	ホットカーラー・逆毛・すき毛
4	ブライダルヘア知識	ブライダルヘアメイクの仕事内容
5	ブライダルヘア知識	打ち合わせに必要な資料の仕上げ方
6	ブライダルヘア知識	婚礼当日のヘアメイクの動き <b>筆記テスト</b>
7	ヘア実践①	和装面だしスタイル

8	ヘア実践②	顔の形を意識してスタイルを作る
9	ヘア実践③	お色直しを意識して2スタイルを作る（相モデル）
10	ヘア実践④	お色直しを意識して2スタイルを作る（モデルチェンジ）
11	テスト①	和装スタイル <b>実技テスト</b>
12	テスト②	洋装スタイル <b>実技テスト</b>
13	ヘア実践⑤	相モデルでヘアアクセサリーも含めて仕上げる
14	ヘア実践⑥	⑤のモデルチェンジ
15	総合授業	前期の振り返り

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークC		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科		4 120
使用教材	A W P検定テキスト		出版社	日本ウェディングプランナー・ネットワーク協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダル業界で働く上の知識を身に付け、AWP検定を受けられる知識を身に付ける				
到達目標	ブライダルの現場においてお客様の需要に合わせた提案をできるようになる。 衣装・小物にあった様々なスタイルを提供できるようになる。				
評価基準	テスト30%・提出物10%・授業意欲10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式で実施する。				
担当教員	高瀬 智子	実務経験	○		
実務内容	美容師として、結婚式場に勤務経験有り。				

## 各回の展開【ブライダル知識】

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	自己紹介・授業の目的・ヒューマン概論・歴史
2	接客概論①	言葉を伝える・魅力を伝える
3	接客概論②	復習テスト・ロールプレイング
4	実務概論①	実務概論・挙式披露宴の流れ
5	実務概論②	テーブルプラン・クリエイティブ概論
6	マーケットの把握①	セールスプロモーション
7	マーケットの把握②	飲食概論

8	ブライダルパートナー①	ブライダルパートナー・花の役割
9	ブライダルパートナー②	ブライダルにおける花の役割
10	婚礼衣装	感動のステージへ・婚礼衣装
11	結婚式の色々	撮影・音響・照明・司会・結婚指輪
12	検定対策①	筆記対策・苦手分野理解
13	検定対策②	筆記対策・苦手分野理解
14	検定対策③	筆記対策・苦手分野理解
15	総合授業	前期の振り返り

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークD		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	ABE textbook Eyelash extensions教科書 まつ毛エクステンション 教材一式 JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	公益社団法人 日本理容美容教育センター NPO法人日本ネイリスト協会	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	ABEまつ毛エクステンション検定合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する 基礎的なマニキュア技術を実践でき、JNEC3級検定取得と様々なアート技術を学び、説明し実践できる				
到達目標	ABEまつ毛エクステンション検定合格レベルの技術と筆記理論を習得する ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、 サロンワークで対応できる爪の補強やアートを習得する				
評価基準	テスト50% 授業態度25% 提出物25% ネイリスト技能検定3級検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上のもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	ABEまつ毛エクステンション検定 JNECネイリスト検定3級・2級/JNAジェルネイル検定初級・中級				
関連科目	美容技術理論II 美容実践II-D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	溝口 五鈴 他1名	実務経験	○		
実務内容	現場で美容師として35年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	【理論】 道具の確認	まつ毛エクステに使用する道具の名称などを確認する
2	【実技】 ワゴンセッティング	実際に使用する道具を使用し、机上をワゴンに見立ててセッティングの場所を覚える
3	【理論】 衛生管理	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
4	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
5	【理論】 保健（目・皮膚）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
6	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
7	【理論】 保健（まつ毛の知識）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
8	【実技】 テーピング・リムービング	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する

9	【理論】 カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
10	【実技】 装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
11	【理論】 カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
12	【実技】 装着復習	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
13	【理論】 テスト（概要～用具）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
14	まとめ	実技のテストを行う
15	まとめ	実技・筆記のテストを行う
1	導入・教材チェック 一年次復習	振り返りを含めて習熟の確認を行う
2	一年次復習	振り返りを含めて習熟の確認を行う
3	一年次復習	振り返りを含めて習熟の確認を行う
4	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	チップラップ 実技	相モデルにて実技
6	2級後半 実技	JNEC2級後半実技タイムトライアル
7	2級 通し	2級の実技を通して練習する
8	2級 通し	2級の実技を通して練習する
9	実技試験	2級内容
10	実技試験	2級内容
11	筆記試験 トリートメント 実技	2級内容の筆記試験 トリートメントを学ぶ
12	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
16	導入・教材チェック 復習	振り返りを含めて習熟の確認を行う
17	復習	振り返りを含めて習熟の確認を行う
18	復習	振り返りを含めて習熟の確認を行う

19	2級実技対策 ジェル中級対策	J NEC2級検定、ジェル中級に向けての実技練習  リベンジ者は3級・ジェル初級練習
20	2級実技対策 ジェル中級対策	
21	2級実技対策 ジェル中級対策	
22	2級実技対策 ジェル中級対策	
23	2級実技対策ケア (ラウンド・プッシャー・ニッパー強化) ジェル中級対策	
24	2級実技対策 ケア ジェル中級対策	受験級を中心に強化練習  教員だけで実技チェックするのではなく、チェックシート等を用いて生徒同士でチェックし自身の弱点を克服
25	2級実技対策 後半実技 ジェル中級対策	
26	2級実技対策 後半実技 ジェル中級対策	
27	作品制作	
28	作品制作	テーマを決めて作品を制作する  オーダーチップのサイズ合わせ
29	作品制作	作品提出
30	総合授業	総まとめを行う

# シラバス

## 科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークE		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークE		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	教科書・クリエヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類、JNA テクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル		出版社	新エステティック・技術編Ⅰ・理論編Ⅲ 美容実技理論Ⅱ、日本エステティック協会 日本理容美容教育センター	

## 科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルエステの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る				
到達目標	ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる ネイルの基礎的な知識・技術を理解し、ジェル検初級取得を目指す				
評価基準	実技試験80%(フェイシャル40%・ボディ40%)授業態度・提出物20%/5段階評価 初級検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	認定フェイシャルエステティシャン NECネイリスト検定3級・2級・1級		認定ボディエステティシャン		
関連科目	美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	原尻 奈都美 他3名		実務経験	○	
実務内容	サロンにてエステティシャン・セラピストとして勤務経験を持つ。新人教育にも携わる。 保持資格は、CIDESCO国際ライセンス、Ajesthe認定講師、AEA上級認定エステティシャン等。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

## 各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション ボディエステティックの目的と効果・ボディエステティックの流れ
2	接客マナー	挨拶・身だしなみ・言葉遣い・基本動作・ベッド誘導
3	前操作	ボディトリートメント/手の使用部位
4	ボディマッサージ 下肢後面 1	手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面 2	前操作～下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面 3	前操作～下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験	成績評価①
8	フェイシャルエステティックと は、接客マナー	フェイシャルエステティックの目的と効果・フェイシャルエステティックの流れ



9	フェイシャルマッサージ 1	マッサージ導入
10	フェイシャルマッサージ 2	マッサージ導入練習
11	フェイシャルマッサージ 3	クレンジング導入・マッサージ・拭取り 練習
12	フェイシャルマッサージ 4	クレンジングから拭取りまで 練習
13	フェイシャル実技試験	成績評価②
14	マッサージ総合・マスク	実技総合 フェイシャル・ボディマッサージ・マスク
15	総合授業	これまでの授業の確認・復習
16	導入・教材の名称及び説明、 ジェル講義・オフの仕方・デモ	教材説明 ライトで硬化するジェルシステムを学ぶ
17	クリア・カラー実技 (自分の爪)	
18	クリア・カラー実技 (相モデル)	
19	クリア・カラー実技 (相モデル)	
20	ジェルアート・講義・デモ	ピーコック・フラワーなどのジェルアートの基礎を学ぶ
21	ジェルアート	
22	初級検定説明・デモ 初級検定DVD※	初級検定内容を学び・技術をマスターする  ※受験時期により内容を前後させて行う ※必要に応じて検定DVDやデモを見る
23	初級検定実技	
24	初級検定実技	
25	筆記テスト 初級検定実技	
26	実技テスト	
27	中級検定について、フレンチ グラデーション、デモ 中級DVD	
28	フレンチ グラデーション実技	フレンチ・グラデーションの基礎を学ぶ
29	ジェルスカ(クリア)(中級対応) デモ 実技	ジェルスカルプを学び、デモンストレーションを行う
30	総合授業	総まとめを行う